

平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 光彩工藝

コード番号 7878 URL <http://www.kosaikogei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 深沢 栄二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部 部長 (氏名) 吉田 貴

TEL 0551-28-4181

四半期報告書提出予定日 平成26年12月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	2,075	8.1	16	△0.3	16	9.4	21	103.9
26年1月期第3四半期	1,919	11.1	16	—	15	—	10	164.8

(注) 包括利益 27年1月期第3四半期 19百万円 (36.2%) 26年1月期第3四半期 14百万円 (299.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	5.66	—
26年1月期第3四半期	2.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第3四半期	2,155	1,433	66.5	382.76
26年1月期	1,975	1,427	72.2	380.89

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 1,433百万円 26年1月期 1,427百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	3.50	3.50
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,850	6.9	76	—	76	451.8	65	762.8	17.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年1月期3Q	3,960,000 株	26年1月期	3,960,000 株
27年1月期3Q	214,650 株	26年1月期	213,226 株
27年1月期3Q	3,746,094 株	26年1月期3Q	3,747,055 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による財政政策や日銀の金融緩和などの影響により、企業業績の改善や個人消費の緩やかな回復が見られたものの、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、消費税増税後の反動減の影響が当初予想より長引き、低調な消費マインドを向上させる材料も乏しく、最大の需要期であるクリスマスシーズンに向けて予断を許さない状況であることは否めません。

このような状況のなか、当グループは低価格商品の増加に伴う利益率下落による影響はあったものの、ベトナム子会社の収益性の改善とジュエリーパーツ事業を柱とした新規販路の開拓や新商品開発への注力、また、販売活動の強化も功を奏したこともあり、前年同四半期に比べ増収増益となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における当グループの業績は、売上高が2,075百万円（前年同四半期比8.1%増）、経常利益は16百万円（前年同四半期比9.4%増）、四半期純利益は21百万円（前年同四半期比103.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ180百万円増の2,155百万円となりました。主な変動は、受取手形及び売掛金の増加128百万円、たな卸資産の増加51百万円等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ174百万円増の722百万円となりました。主な変動は、支払手形及び買掛金の増加157百万円等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ6百万円増の1,433百万円となりました。主な変動は、利益剰余金の増加8百万円等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月20日発表「平成26年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表した通期の連結業績予想に変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

#### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

#### ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

#### ③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結累計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	431,194	437,901
受取手形及び売掛金	387,127	515,737
たな卸資産	671,872	723,592
その他	8,293	22,656
貸倒引当金	△393	△482
流動資産合計	1,498,094	1,699,406
固定資産		
有形固定資産	325,956	323,736
無形固定資産	2,667	2,348
投資その他の資産	140,817	127,380
固定資産合計	469,442	453,466
繰延資産	7,573	2,809
資産合計	1,975,110	2,155,682
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,958	188,984
短期借入金	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	30,024	28,870
その他	75,596	112,469
流動負債合計	457,579	650,324
固定負債		
長期借入金	40,718	19,354
退職給付引当金	21,270	22,870
役員退職慰労引当金	23,175	24,566
その他	5,265	5,014
固定負債合計	90,428	71,805
負債合計	548,007	722,129
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	602,150	602,150
資本剰余金	509,290	509,290
利益剰余金	336,474	344,564
自己株式	△30,124	△30,431
株主資本合計	1,417,790	1,425,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,047	4,029
為替換算調整勘定	4,264	3,950
その他の包括利益累計額合計	9,311	7,980
純資産合計	1,427,102	1,433,553
負債純資産合計	1,975,110	2,155,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)
売上高	1,919,491	2,075,185
売上原価	1,637,555	1,776,574
売上総利益	281,936	298,611
販売費及び一般管理費	265,171	281,887
営業利益	16,764	16,723
営業外収益		
受取配当金	296	—
受取地代家賃	1,352	1,157
為替差益	2,335	390
その他	1,529	871
営業外収益合計	5,515	2,418
営業外費用		
支払利息	2,527	2,370
その他	4,453	40
営業外費用合計	6,980	2,411
経常利益	15,299	16,731
特別利益		
補助金収入	—	9,932
特別利益合計	—	9,932
税金等調整前四半期純利益	15,299	26,664
法人税、住民税及び事業税	4,899	5,461
法人税等合計	4,899	5,461
少数株主損益調整前四半期純利益	10,400	21,202
四半期純利益	10,400	21,202

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,400	21,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,167	△1,017
為替換算調整勘定	2,018	△313
その他の包括利益合計	4,185	△1,331
四半期包括利益	14,585	19,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,585	19,871

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、その他のセグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、その他のセグメント情報の記載を省略しております。